

## 情 報 公 開 文 書

研究の名称	ヘリコバクター・ピロリ未感染症例ないし除菌後症例に発生した粘膜下層以深浸潤胃癌に関する多施設共同観察研究
整理番号	
研究機関の名称	公益財団法人 がん研究会 がん研有明病院、富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	研究責任者：富山大学附属病院 第三内科 講師 安藤孝将
研究の概要	<p>【研究対象者】 病理組織学的に粘膜下層以深に浸潤している胃癌</p> <p>【研究の目的・意義】 昨今の胃癌症例に <i>H. pylori</i> 未感染粘膜ないし除菌後（既感染）胃粘膜が認められる頻度が増えてます。しかし、未感染胃癌、除菌後胃癌において、浸潤癌を対象とした研究報告は限られています。本研究の目的は、未感染胃癌、除菌後胃癌のうち粘膜下層以深に浸潤する胃癌を集積し、これらの特徴を明らかにすることを目的としました。</p> <p>【研究の方法】 診療録の情報から後方視的に治療成績について検討します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2027年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 結果の如何に関わらず、研究成果は公表し、学会発表および英文誌への論文投稿を行います。この際に個人のプライバシー保護には十分な注意を払って、個人の特定につながる情報は公表しません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>電子診療録より以下の情報を使用します。</p> <p>患者臨床情報（年齢、性別、既往歴など）、内視鏡的所見・組織学的所見（背景粘膜、腫瘍径、腫瘍部位、組織型など）、<i>H. pylori</i> 感染診断に関する情報（除菌歴、血清抗体検査、ウレアーゼテストなど）</p> <p>本研究で収集したデータは研究事務局および中央解析施設であるがん研有明病院に提供します。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志 公益財団法人 がん研究会 がん研有明病院 佐野 武
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	公益財団法人 がん研究会 がん研有明病院 藤崎 順子
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 070-434-7301 FAX 076-434-5027 E-mail sshimada@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 第三内科 島田清太郎</p>